

Web システムに映像表示機能を追加する

NC5301A ソフトデコーダコントロール

はじめに

昔は情報カメラの映像を表示させるために専用システムを導入していましたが、今ではさまざまな Web システム上で情報カメラの映像表示が可能になっています。しかし、異なるメーカー製のカメラ/エンコーダの映像表示は、メーカー間の互換性がなく正しく表示できないケースがあります。

多くのカメラ映像を使って監視業務を行っている環境では、単一メーカー製のカメラ/エンコーダだけで構築されていることは無く、複数メーカーのカメラ/エンコーダが稼働しています。そのため、異なるメーカーのカメラ映像でも表示できるマルチベンダ対応能力の高いデコーダが要求されます。

ソフトデコーダコントロールとは

ソフトデコーダコントロールは、さまざまな市場で異なるメーカー製カメラによる監視業務で活用されているハードウェア製品：情報閲覧装置 SightVisor シリーズに搭載されているデコードエンジンを切り出した、Internet Explorer 11 向けの ActiveX コントロールです。

これを利用することで、簡単に Web システムにカメラ映像表示機能を実装することができます。

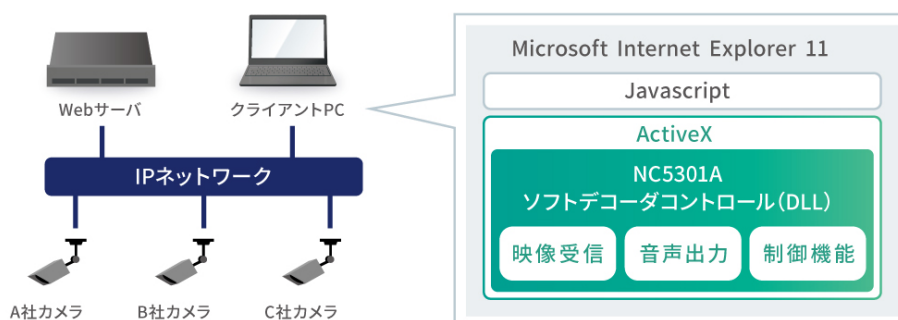


図 1. NC5301A ソフトデコーダコントロール

国交省仕様に準拠した H.264/MPEG-2 のリアルタイム映像に対応し、以下の特長があります。

- カメラメーカーを選ばずデコード可能（国交省仕様準拠）
- H.264/MPEG-2 配信映像のリアルタイム表示が可能
- ユニキャスト/マルチキャストに対応
- 映像をカクつきにくくする揺らぎ吸収機能
- 映像画面上のマウスクリック座標を取得可能（ブラウザ内での相対座標）
- 最大 6 映像を同時表示が可能（要ライセンス、PC 性能による）

適用例：総合監視システムの映像表示機能



図 2. 統合監視システムへの導入イメージ

統合監視システムでカメラ映像を表示させるためには、前述のようにマルチベンダ対応能力が重要ですが、そのために多くのコストを掛けて新規開発するのはあまり良い選択とは言えません。簡単に Web システム上でリアルタイム映像を表示するには、汎用性の高いソフトデコーダを購入して組み込む方が、短期間に低コストで実現できます。

さいごに

地図上から見たいカメラ映像を選択する GIS 連携の操作インターフェースは、もはや標準的なものであり、さまざまな監視システムではさらなる操作性/利便性の向上が求められています。そのため、監視システムの開発規模は時間/コストとも増加傾向にあり、映像表示などの機能モジュールなどは、購入品を利用することで時間/コストの削減に繋がります。

アンリツの NC5301A ソフトデコーダコントロールは、簡単に Web システム上にカメラ映像を表示できる Internet Explorer 11 向けの ActiveX コントロールであり、開発期間/コストの削減に貢献します。

お問い合わせ先

Anritsu
アンリツ株式会社

環境計測カンパニー
営業本部 第2営業部
〒160-0023 新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル
Tel: 03-5320-3551
Email : an-post@zz.anritsu.co.jp
URL : <https://www.anritsu.com>